

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2021年 4月 28日

青森県知事 殿

病院名 三沢市立三沢病院
開設者 三沢市長 小檜山 吉紀

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令(平成14年厚生労働省令第158号)第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第9条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。(研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。)

①. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 (報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。)

- ・項目番号1から25までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から36までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号：031157

臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院

記入日：西暦 2021 年 4 月 28 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	031157	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨 床研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 三沢市立三沢病院 番号 0311571
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ クドウ ユイ 氏名(姓) 工藤 (名) 由衣		役職 主事 0176-53-2161 (内線 2122) e-mail : y.kudo@hospital.misawa.aomori.jp <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ ミサワシリツミサワビョウイン 三沢市立三沢病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 033-0022 (青森 都・道・府・県) 三沢市大字三沢字堀口 164 番地 65 号 電話 : 0176-53-2161 F A X : 0176-52-6023 二次医療圏の名称 : 上十三地域保健医療圏		
3. 病院の開設者の氏名 (法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ ミサワシチョウ コヒヤマ ヨシノリ 三沢市長 小檜山 吉紀		
4. 病院の開設者の住所 (法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 033-8666 (青森 都・道・府・県) 三沢市桜町 1 丁目 1 番 38 号 電話 : 0176-53-5111 F A X : 0176-52-5655		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ イトウ 姓 伊藤		エツロウ 名 悦朗
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会のすべての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	http://www.hospital.misawa.aomori.jp		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号：031157

臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 (基幹型・協力型記入)		常勤：28 名、非常勤（常勤換算）：2.9 名 計（常勤換算）：30.9 名、医療法による医師の標準員数：20.5 名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 (基幹型・協力型記入)	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦2016年11月4日、告示番号：第695号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 ②. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	①. 有 (151.404) m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数：5,154 件（うち診療時間外：4,258 件） 1日平均件数：14.1 件（うち診療時間外：3.9 件） 救急車取扱件数：1,546 件（うち診療時間外：1,017 件）
	診療時間外の勤務体制	医師：1 名、看護師及び准看護師：2 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系（①. 有 0. 無） 外科系（①. 有 0. 無） 小児科（①. 有 0. 無） その他（ ）
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） (基幹型・協力型記入)		1. 一般：220 床、2. 精神： 床、3. 感染症： 床 4. 結核： 床、5. 療養： 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 (基幹型・協力型記入)		* 別紙2に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） (基幹型・協力型記入)		1. 一般：13.9 日、2. 精神： 日、3. 感染症： 日 4. 結核： 日、5. 療養： 日
14. 前年度の分娩件数 (基幹型・協力型記入)		正常分娩件数：200 件、異常分娩件数：52 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 (基幹型・協力型記入)	開催回数	前年度実績：1 回、今年度見込：2 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績：1 件、今年度見込：2 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 ①. 有 0. 無（ ）大学、（ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 (基幹型・協力型記入)	研修医の宿舎	①. 有（単身用：4 戸、世帯用：4 戸） 0. 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	1. 有（ 室） ②. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 (基幹型・協力型記入)	図書室の広さ	(110.250) m ²
	医学図書数	国内図書：800 冊、国外図書：100 冊
	医学雑誌数	国内雑誌：21 種類、国外雑誌：10 種類
	図書室の利用可能時間	0:00 ～ 24:00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース（①. 有 0. 無）、教育用コンテンツ（①. 有 0. 無）、 その他（ ） 利用可能時間（0:00 ～ 24:00 ）24時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター（①. 有 0. 無）、 その他（ ）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号：

臨床研修病院の名称：

18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	ツガナ サイトウ	ソウ	
		氏名(姓) 齋藤	(名) 聡	
		役職 院長		
	診療に関する諸記録の管理方法	①. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)		
	診療録の保存期間	(永年) 年間保存		
	診療録の保存方法	1. 文書 2. 電子媒体 その他(具体的に: 紙及び電子媒体)		
19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理者の配置状況	①. 有 (1 名) 0. 無 <small>有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</small>		
	安全管理部門の設置状況	職員: 専任 (1) 名、兼任 (1) 名 主な活動内容: 例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 院内において発生した医療事故または発生する危険があった医療事故についての情報収集、医療事故の防止のための研修及び教育 等		
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等:	ツガナ タナベ	マサヒデ
			氏名(姓) 田辺	(名) 正英
			役職 事務局長	
		対応時間 (9:00 ~ 16:00) 24時間表記		
		患者相談窓口に係る規約の有無: ①. 有 0. 無		
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①. 有 0. 無 指針の主な内容: 医療事故の未然防止及び医療事故発生時の対応について定め、患者に安全な医療を提供する		
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 (12) 回 活動の主な内容: 医療事故防止対策、医療事故発生時の早期対応、原因調査、再発防止策など		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 (2) 回 研修の主な内容: 医療機関を取り巻く状況、医療紛争、医療訴訟の現状、リスクマネジメントに係る用語説明、事故防止の取組、医療機器等の取扱方法等		
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備: ①. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容: 他の医療機関で発生した医療事故に関する状況、原因、薬品などの調査、ニアミスの調査、防止策の検討等			
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	修了:	1 名		
	中断:	名		
21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		前々年度	前年度	
	1 年	1	1	
	2 年	1	1	
22. 受入可能定員 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 (220) 床 ÷ 10 = (22) 名		
	患者数から算出	年間入院患者数 (3,752) 人 ÷ 100 = (37.52) 名		
23. 当該病院からの医師派遣実績 ※募集定員を変更する場合は、別紙5も提出すること。	○ 派遣実績	→	募集定員加算	
	0 名		0 名	
	※ 募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算人数を記入すること。(記入要領 25 を参照)			
	○地域医療対策協議会等の意向の把握 (〇 ・ 無)			
	※ 該当する方を○で囲むこと。			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号：031157

臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院

項目 25 までについては、報告時に必ず記入してください。		※		
24. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>(基幹型・協力型記入)</small> 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		1.	精神保健福祉士： 0 名（常勤： 名、非常勤： 名）	
		2.	作業療法士： 0 名（常勤： 名、非常勤： 名）	
		3.	臨床心理技術者： 0 名（常勤： 名、非常勤： 名）	
		9.	その他の精神科技術職員： 0 名（常勤： 名、非常勤： 名）	
25. 第三者評価の受審状況 <small>(基幹型記入)</small>		1.	有（評価実施機関名： (年 月 日)） ◎. 無 <small>有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。</small>	
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。				
26. 研修プログラムの名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small> プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称： プログラム番号： _____		
27. 研修医の募集定員 <small>(基幹型記入)</small>		1年次： 名、2年次： 名		
28. 研修医の募集及び採用の方法 <small>(基幹型記入)</small>	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ 氏名（姓） (名) 所属 役職 電話： FAX： e-mail： URL：		
		資料請求先	住所 〒 (都・道・府・県) 担当部門 担当者氏名 フリガナ 姓 名 電話： FAX： e-mail： URL：	
			募集方法 1. 公募 2. その他（具体的に： ）	
			応募必要書類 <small>(複数選択可)</small> 1. 履歴書、2. 卒業(見込み)証明書、3. 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他（具体的に： ）	
			選考方法 <small>(複数選択可)</small> 1. 面接 2. 筆記試験 その他（具体的に： ）	
	募集及び選考の時期 募集時期：月日頃から 選考時期：月日頃から			
	マッチング利用の有無 1. 有 0. 無			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号：031157

臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

<p>29. 研修プログラムの名称及び概要 (基幹型記入)</p>	<p>概要：* 別紙3に記入 (作成年月日：西暦 年 月 日)</p>
<p>30. プログラム責任者の氏名等(副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) (基幹型記入)</p> <p>* プログラム責任者の履歴を様式2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入</p>	<p>(プログラム責任者) フリガナ 氏名(姓) _____ 氏名(名) _____ 所属 _____ (副プログラム責任者) 1. 有 (2 名) 0. 無</p>
<p>31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 (基幹型記入)</p> <p>すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。</p>	<p>* 別紙4に記入</p>
<p>32. インターネットを用いた評価システム</p>	<p>1. 有 (・EPOC ・その他 ()) 0. 無</p>
<p>33. 研修開始時期 (基幹型、地域密着型記入)</p>	<p>西暦 年 月 日</p>
<p>34. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 2. 病院独自の処遇とする。</p>
<p>処遇の適用 (基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)</p>	<p>1. 常勤 2. 非常勤</p>
<p>常勤・非常勤の別</p>	<p>一年次の支給額(税込み) _____ 二年次の支給額(税込み) _____ 基本手当/月(円) _____ 基本手当/月(円) _____ 賞与/年(円) _____ 賞与/年(円) _____</p>
<p>研修手当</p>	<p>時間外手当： 1. 有 0. 無 休日手当： 1. 有 0. 無</p>
<p>勤務時間</p>	<p>基本的な勤務時間(8:15 ~ 17:00) 24時間表記 休憩時間() _____ 時間外勤務の有無： 1. 有 0. 無</p>
<p>休暇</p>	<p>有給休暇(1年次： 日、2年次： 日) 夏季休暇(1. 有 0. 無) 年末年始(1. 有 0. 無) その他休暇(具体的に： _____)</p>
<p>当直</p>	<p>回数(約 回/月)</p>
<p>研修医の宿舍(再掲)</p>	<p>1. 有(単身用： _____ 戸、世帯用： _____ 戸) 0. 無(住宅手当： _____ 円) 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</p>
<p>研修医室(再掲)</p>	<p>1. 有(_____ 室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</p>
<p>社会保険・労働保険</p>	<p>公的医療保険(_____) 公的年金保険(_____) 労働者災害補償保険法の適用(1. 有 0. 無)、 国家・地方公務員災害補償法の適用(1. 有 0. 無) 雇用保険(1. 有 0. 無)</p>
<p>健康管理</p>	<p>健康診断(年 回) その他(具体的に _____)</p>
<p>医師賠償責任保険の扱い</p>	<p>病院において加入(1. する 0. しない) 個人加入(1. 強制 0. 任意)</p>
<p>外部の研修活動</p>	<p>学会、研究会等への参加： 1. 可 0. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無： 1. 有 0. 無</p>
<p>35. 研修医手帳(基幹型記入)</p>	<p>1. 有 0. 無</p>
<p>36. 連携状況(基幹型記入)</p>	<p>* 様式6に記入</p>

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているの、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から25までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から35までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数} - 52}{5} \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式3に記入すること(歯科医師は記入しない。)
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
 - (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
 - (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
 - (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
 - (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
 - (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
 - (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
 - (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
 - 17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄について
- (1)「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。

- と。
- (2) 「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3) 「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「() 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「() 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1) 「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
- (2) 「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1) 「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline 等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他 ()」にその内容を記入すること。
- (2) 「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他 ()」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1) 「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1) 「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (2) 「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3) 「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数+報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 25 「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が20人以上の場合を1とし、5人増える毎に1を加え、80人以上の場合を13」とする。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 28 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 29 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 30 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。
- 31 「研修医の処遇」欄について
- (1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無

について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

(5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

(6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。

(7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

(8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。

(9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

7. 病院群の構成等

基幹型又は地域密着型病院の名称（所在都道府県） 三沢市立三沢病院 （青森県）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
青森県	上十三地域保健医療圏	三沢市立三沢病院 (病院施設番号:031157)		青森県	津軽地域保健医療圏		弘前大学医学部附属病院 (病院施設番号:030038)		青森県	上十三地域保健医療圏		六ヶ所村地域家庭医療センター (病院施設番号:041064)		三沢市立三沢病院臨床研修プログラム	
				青森県	上十三地域保健医療圏		十和田市立中央病院 (病院施設番号:030801)		青森県	八戸地域保健医療圏		国民健康保険五戸総合病院 (病院施設番号:056926)			
									青森県	上十三地域保健医療圏		上北地域県民局地域健康福祉部保健総室(上十三保健所) (病院施設番号:034012)			
								青森県	上十三地域保健医療圏		堀口ひばり苑 (病院施設番号:157924)				

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和2年度開催回数 1回）

病院施設番号：031157

臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ サイトウ ソウ		三沢市立三沢病院	院長	研修管理委員長
姓 斎藤	名 聡			
フリガナ ナカムラ カズヒコ		弘前大学大学院医学研究科	神経精神医学講座教授	協力型臨床研修病院研修実施責任者・指導医
姓 中村	名 和彦			
フリガナ ヤチモリ コウジ		十和田市立中央病院	メンタルヘルス科診療部長	協力型臨床研修病院研修実施責任者・指導医
姓 谷地森	名 康二			
フリガナ マツオカ フミヒコ		六ヶ所村地域家庭医療センター	センター長	協力型臨床研修病院研修実施責任者・指導医
姓 松岡	名 史彦			
フリガナ タケバヤシ クレナイ		上北地域県民局地域健康福祉部 保健総室（上十三保健所）	保健総室長	協力型臨床研修病院研修実施責任者・指導医
姓 竹林	名 紅			
フリガナ ナカサト リョウ		堀口ひばり苑	管理者	協力型臨床研修病院研修実施責任者・指導者
姓 中里	名 亮			
フリガナ アンドウ トシノリ		国民健康保険五戸総合病院	院長	協力型臨床研修病院研修実施責任者・指導者
姓 安藤	名 俊典			
フリガナ ナカムラ カツシ			有識者	元三沢病院事務局長
姓 中村	名 勝志			
フリガナ ホシ ヨシキ		三沢市立三沢病院	副院長	研修管理副委員長、プログラム責任者
姓 星	名 克樹			
フリガナ マツモト リクロウ		三沢市立三沢病院	副院長	指導医
姓 松本	名 陸郎			

フリガナ マルヤマ ヒデトシ	三沢市立三沢病院	医長	指導医
姓 丸山 名 英俊			
フリガナ オガワ タロウ	三沢市立三沢病院	医長	指導医
姓 小川 名 太郎			
フリガナ トオセ リュウジ	三沢市立三沢病院	医長	指導医
姓 遠瀬 名 龍二			
フリガナ イケナガ ショウジロウカズノリ	三沢市立三沢病院	医長	指導医
姓 池永 名 照史郎一期			
フリガナ オカダ リツコ	三沢市立三沢病院	看護局長	看護部門責任者
姓 岡田 名 理津子			
フリガナ タナベ マサヒデ	三沢市立三沢病院	事務局長	事務部門責任者
姓 田辺 名 正英			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院

病院施設番号：031157

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行 う診療科			合 計
							産 科	婦 人 科		整 形 外 科	放 射 線 科	泌 尿 器 科				
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	1,536	629 (5,154)	519		173	527 (252)	()			112				256		
年間新外来患者数	1,666	3,026	286		1,223	577				317			1,529	246		
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	141.6 (232)	12.5 (232)	18.9 (232)	()	39.5 (232)	40.1 (232)	()	()	()	29.9 (232)	()	()	15.2 (232)	42.8 (232)	()	
平均在院日数	14.6	21.8	13.3		4.7	7.0				29.6				8.4		
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医) 数)	8 (4)	1 (1)	4 (3)	1 (1)	4 (2)	2 (2)	()	()	()	2 (2)	()	()	1 (1)	2 (1)	()	

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11.の救急医療の実績の前年度の件数及び15.の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院

病院施設番号：031157

区 分	その他の診療科															合 計
	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科	脳神経外科	形成外科											
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数																3,752
年間新外来患者数	361	50	122	50	103											9,556
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	26.6 (232)	9.6 (232)	4.4 (232)	1.7 (232)	5.4 (232)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
平均在院日数																
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	25 (17)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11.の救急医療の実績の前年度の件数及び15.の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R3年度分)		臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院												
		病院施設番号：031157												
基幹型病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
三沢市立三沢病院	内科	3	3	3	3	3	3							
三沢市立三沢病院	外科						3	3	3					
三沢市立三沢病院	小児科								3	3	3			
三沢市立三沢病院	救急部門										3	3	3	3
三沢市立三沢病院	整形外科	3	3	3										
三沢市立三沢病院	地域医療			3	3									
弘前大学医学部附属病院	精神科				3	3	3							
十和田市立中央病院	精神科				3	3	3							
六ヶ所村地域家庭医療センター	地域医療							3	3					
国民健康保険五戸総合病院	地域医療							3	3					

※ 当該年度分、当該年度の次年度分、次々年度分を別様で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が当該年度、当該年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各月に受け入れる研修医の延人数（研修期間1月について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入すること（選択科については記入しないこと）。

※ 担当分野が選択必修科目又は選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R4年度分)		臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院												
		病院施設番号：031157												
基幹型病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
三沢市立三沢病院	内科	3	3	3	3	3	3							
三沢市立三沢病院	外科						3	3	3					
三沢市立三沢病院	小児科								3	3	3			
三沢市立三沢病院	救急部門										3	3	3	3
三沢市立三沢病院	整形外科	3	3	3										
三沢市立三沢病院	地域医療			3	3									
弘前大学医学部附属病院	精神科				3	3	3							
十和田市立中央病院	精神科				3	3	3							
六ヶ所村地域家庭医療センター	地域医療							3	3					
国民健康保険五戸総合病院	地域医療							3	3					

※ 当該年度分、当該年度の次年度分、次々年度分を別様で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が当該年度、当該年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各月に受け入れる研修医の延人数（研修期間1月について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入すること（選択科については記入しないこと）。

※ 担当分野が選択必修科目又は選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(R5年度分)		臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院												
		病院施設番号：031157												
基幹型病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
三沢市立三沢病院	内科	3	3	3	3	3	3							
三沢市立三沢病院	外科						3	3	3					
三沢市立三沢病院	小児科								3	3	3			
三沢市立三沢病院	救急部門										3	3	3	3
三沢市立三沢病院	整形外科	3	3	3										
三沢市立三沢病院	地域医療			3	3									
弘前大学医学部附属病院	精神科				3	3	3							
十和田市立中央病院	精神科				3	3	3							
六ヶ所村地域家庭医療センター	地域医療							3	3					
国民健康保険五戸総合病院	地域医療							3	3					

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：031157103

病院施設番号：031157

臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院

臨床研修病院群番号：0311571

臨床研修病院群名：三沢市立三沢病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称		三沢市立三沢病院臨床研修プログラム			
2. 研修プログラムの特色		<p>三沢市立三沢病院は、青森県県南の上十三地域二次保健医療圏に位置し、三沢市と周辺町村の約12万人の医療対象人口を支える中核病院です。</p> <p>三沢市には、米軍及び自衛隊の航空基地が共存し、軍人・軍属や自衛隊員、隣接する六ヶ所村の核燃料サイクル施設に勤務する住民など、いわゆる転勤族も多く居住し、患者の医療知識のレベルも高く、東北の一地方都市としては異彩を放っているといえます。</p> <p>当院の初期研修は、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけることを指導の基本理念とし、将来どの科になっても必要な診断学や検査手技、治療手技を身につけることで、病院総合医（仮称）を育てる基礎を身につけさせることに目標を定めています。病院総合医とは、家庭医と専門医の中間に位置する医師を想定しています。</p> <p>このことは、医学生のクリニカルクラークシップ（診療参加型臨床研修）から初期研修そして後期研修を一貫して行い、屋根瓦方式の研修システムを確立することで可能となり、臨床研修病院として当院が目指す姿であります。</p> <p>20か国の外国人が居住する三沢市において、多様な患者層と症例は初期研修の場として、最適な環境といえます。院内で週に1回開かれる外国人講師による英会話教室も、コミュニケーションスキルの一助となり、医師としての人格のかん養につながっていきます。</p>			
3. 臨床研修の目標の概要		医師としての人格のかん養に努め、幅広い基本的臨床能力を習得し、頻度の高い疾患や病態及びプライマリ・ケアに対応できる医師を育成するための初期研修を行うことを目標としている。			
4. 研修期間		(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考		研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。			
5. 臨床研修を行う分野		<p>研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）</p> <ul style="list-style-type: none"> * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。 			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修	内科	031157	三沢市立三沢病院	26週	8週
	救急部門	031157	三沢市立三沢病院	12週	

科目・分野	地域医療	041064 056926	六ヶ所村地域家庭医療センター 国民健康保険五戸総合病院	4週	一般外来 週
	外科	031157	三沢市立三沢病院	7週	在宅診療 週
	小児科	031157	三沢市立三沢病院	7週	週
	産婦人科	031157	三沢市立三沢病院	4週	
	神経科精神科 メンタルヘルス 科	030038 030801	弘前大学医学部附属病院 十和田市立中央病院	4週	
病院で 定めた 必修 科目	整形外科	031157	三沢市立三沢病院	9週	週
					週
					週
選択 科目	内科	031157	三沢市立三沢病院	31週	31週
	外科	031157	三沢市立三沢病院		
	小児科	031157	三沢市立三沢病院		
	救急医療	031157	三沢市立三沢病院		
	整形外科	031157	三沢市立三沢病院		
	産婦人科	031157	三沢市立三沢病院		
	放射線科	031157	三沢市立三沢病院		
	麻酔科	031157	三沢市立三沢病院		
	神経科精神科	030038	弘前大学医学部附属病院		
	メンタルヘルス 科	030801	十和田市立中央病院		
	地域医療	041064	六ヶ所村地域家庭医療セン ター		
	地域医療	056926	国民健康保険五戸総合病院		
	地域保健	031157	三沢市立三沢病院		
	地域保健	034012	上北地域県民局地域健康福 祉部保健総室		
地域保健	157924	堀口ひばり苑			

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 52週 ※原則として、52週以上行うことが望ましい。
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12週 ※原則として、12週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4週※但し、4週を上限とする
一般外来の研修を行う診療科・・・総合内科、循環器内科、消化器内科、小児科、外科、地域医療
※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号： 031157

臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院

は、既に取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号： 031157

臨床研修病院群名：三沢市立三沢病院群

6. 研修スケジュール (一年次・二年次：いずれかに○)

プログラム番号 031157103

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5												
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科	3												
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科			3										
三沢市立三沢病院 (031157)	内科	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
三沢市立三沢病院 (031157)	外科							3	3	3	3	3	3	
三沢市立三沢病院 (031157)	小児科									3	3	3	3	3
三沢市立三沢病院 (031157)	救急医療											3	3	3
													3	3
														3
														3
														3

*1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

*2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

*3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号	病院施設番号： 031157	臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院
は、既に取得されている場合に記入してください。	臨床研修病院群番号： 031157	臨床研修病院群名：三沢市立三沢病院群

6. 研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○） プログラム番号 031157103

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。* 1 (No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 * 2	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
三沢市立三沢病院 (031157)	整形外科	3 3 3 3	3 3 3 3											
六ヶ所村地域家庭医療 センター(041064) 国民健康保険五戸総合 病院(056926)	地域医療			3 3 3 3										
弘前大学医学部附属病 院 (030038) 十和田市立中央病院 (030801)	神経科精 神科 メンタル ヘルス科				3 3 3 3									
三沢市立三沢病院 (031157) 弘前大学医学部附属病 院 (030038) 十和田市立中央病院 (030801) 六ヶ所村地域家庭医療 センター(041064) 国民健康保険五戸総合 病院(056926) 上十三保健所(034012) 堀口ひばり苑(157924)	選択科目						3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3

* 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

* 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

(No. 1)

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 031157

臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
内科	斎藤 聡	三沢市立三沢病院	院長	36	○	日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会認定消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医、日本プライマリケア連合学会指導医、第5回弘前大学医学部附属病院卒後臨床研修教育ワークショップ	031157102	2・4
外科	松本 陸郎	三沢市立三沢病院	副院長	33	○	日本医師会認定産業医、日本消化器外科学会認定医、日本外科学会外科専門医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本プライマリケア連合学会認定指導医、第7回新臨床研修指導医養成講習会	031157102	2・4
内科・救急	星 克樹	三沢市立三沢病院	副院長	37	○	日本内科学会総合内科専門医、日本循環学会認定循環器専門医、日本高血圧学会指導医、日本プライマリケア連合学会認定指導医、第7回新臨床研修指導医養成講習会	031157102	1・4
小児科	江渡 修司	三沢市立三沢病院	医療局長	25	○	第113回臨床研修指導医養成講習会	031157102	4
泌尿器科	美濃 眞成	三沢市立三沢病院	医長	33	×	日本泌尿器科学会専門医	031157102	上級医
産婦人科	丸山 英俊	三沢市立三沢病院	医長	36	○	日本産婦人科学会産婦人科専門医、日本臨床細胞学会認定細胞診専門医、母体保護法指定医、第3回弘前大学医学部附属病院卒後臨床研修教育ワークショップ	031157102	4
放射線科	清塚 誠	三沢市立三沢病院	医長	19	○	日本放射線腫瘍学会及び日本医学放射線学会共同認定放射線治療専門医、日本医学放射線学会研修指導者、日本医師会認定産業医、PET核医学認定医、第115回臨床研修指導医養成講習会	031157102	4
内科	津谷 亮佑	三沢市立三沢病院	医長	15	×	日本内科学会認定内科医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会認定消化器病専門医	031157102	上級医

(No. 2)

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 031157

臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
小児科	鈴木 友希	三沢市立三沢病院	医長	16	×	日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医	031157102	上級医
内科	鈴木 一広	三沢市立三沢病院	医長	16	○	日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本臨床腫瘍学会専門医、がん治療認定医、第11回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ	031157102	4
外科	池永 照史郎一期	三沢市立三沢病院	医長	21	○	日本外科学会認定医・専門医、日本消化器外科学会認定医・専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、第11回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ	031157102	4
内科	泉山 圭	三沢市立三沢病院	医長	16	○	第15回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ	031157102	4
整形外科	小川 太郎	三沢市立三沢病院	医長	26	○	日本整形外科学会専門医、第37回新臨床研修指導医養成講習会	031157102	4
麻酔科	遠瀬 龍二	三沢市立三沢病院	医長	17	○	日本麻酔科学会麻酔科専門医、第15回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ	031157102	4
外科	久保 寛仁	三沢市立三沢病院	医長	15	○	日本消化器外科学会専門医、日本外科学会専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、第14回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ	031157102	4
内科	西下 理恵	三沢市立三沢病院	医長	11	×	日本内科学会認定内科医	031157102	上級医
内科	牧村 志穂	三沢市立三沢病院	医長	7	×		031157102	上級医

(No. 3)

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 031157

臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
小児科	湯沢 健太郎	三沢市立三沢病院	医長	9	○	第 29 回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ	031157102	4
泌尿器科	日下 歩	三沢市立三沢病院	医長	9	○	日本泌尿器科学会認定専門医、第 22 回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ	031157102	4
整形外科	マニワケイイチロウ	三沢市立三沢病院	医長	13	○	日本整形外科学会認定専門医、第 23 回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ	031157102	4
内科	秋田谷 一輝	三沢市立三沢病院	医長	7	×		031157102	上級医
産婦人科	田村 良介	三沢市立三沢病院	医長	12	○	第 16 回秋田県臨床研修協議会医師臨床研修指導医ワークショップ	031157102	4
放射線科	石崎 海子	三沢市立三沢病院	医長	9	×	日本放射線学会認定放射線診断専門医、PET 核医学認定医	031157102	上級医
メンタルヘルス科	谷地森 康二	十和田市立中央病院	診療部長	30	○	日本精神神経学会精神科専門医制度指導医、日本精神神経学会精神科専門医、精神保健指導医、臨床研修指導医養成講習会	031157102	3・4
メンタルヘルス科	竹内 淳子	十和田市立中央病院	診療部長	31	○	日本精神神経学会精神科専門医制度指導医、日本精神神経学会精神科専門医、精神保健指導医、緩和ケア基本教育に関する指導者研修修了、第 21 回新臨床研修指導医養成講習会	031157102	4
メンタルヘルス科	徳満 敬大	十和田市立中央病院	医員	9	○	日本精神神経学会精神科専門医、精神保健指定医、産業医	031157102	4

(No. 4)

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 031157

臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
地域医療	松岡 史彦	六ヶ所村地域家庭 医療センター	センター長	35	○	第1回新臨床研修指導医養成講習 会、日本プライマリケア連合学会指 導医、日本医師会認定産業医	031157102	3・4
地域医療	船越 樹	六ヶ所村地域家庭 医療センター	副センター長	24	○	地域医療振興協会主催新石臨床研修 制度地域指向型指導医講習会、日本 プライマリケア連合学会指導医、日 本医師会認定指導医	031157102	4
地域医療	安藤 敏典	国民健康保険五 戸総合病院	院長	23年	○	消化器専門医、消化器外科専門 医、指導医、消化器がん外科治療認 定医、日本乳癌学会認定医、外科專 門医、指導医	031157101	3・4
地域医療	新井田 修久	国民健康保険五 戸総合病院	院長代理	34年	○	総合診療領域特任指導医、医師臨床 研修指導医ワークショップ、一般社 団法人日本プライマリ・ケア連合会 認定医、認定指導医、日本医師会認 定産業医	031157101	4
地域医療	佐藤 和則	国民健康保険五 戸総合病院	副院長	24年	○	認定内科医、がん治療認定医、一般 社団法人日本プライマリ・ケア連合会 認定医、認定指導医、総合診療領域 特任指導医・医師臨床研修指導医ワ ークショップ	031157101	4
地域医療	井戸川 敏彦	国民健康保険五 戸総合病院	特別参事	43年	○	産婦人科専門医、日本東洋医学会漢 方専門医、日本産科婦人科学会専門 医産婦人科専門医、特定非営利活動 法人民陵協議会臨床研修指導医	031157101	4
地域保健	竹林 紅	上北地域県民局 地域健康福祉部	保健総室長 (上十三保健所長)	臨床5年 保健所14年	○	医師免許、日本医師会認定産業医、 平成19年度全国保健所長会「地域保 健・医療」指導者開発ワークショッ プ受講	031157102	4
地域保健	中里 亮	堀口ひばり苑	管理者		×		031157102	3・指導者
病理	山岸 晋一郎	青森労災病院	検査科部長	31	○	第7回青森県医師臨床研修対策協議 会医師臨床研修指導医ワークショッ プ、日本病理学会認定病理医	031157102	4
病理	水上 浩哉	弘前大学大学院 医学研究科	教授	22	○	第13回青森県医師臨床研修対策協 議会医師臨床研修指導医ワークショ ップ、日本病理学会専門医	031157102	4

3 1. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 031157

臨床研修病院の名称：三沢市立三沢病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
神経科 精神科	中村 和彦	弘前大学大学院 医学研究科	教授	31	○	日本精神神経学会精神科専門医・指導医、精神保健指定医、日本児童青年精神医学会認定医、浜松医科大学医学部附属病院臨床研修指導医講習会	031157102	3・4
神経科 精神科	斉藤 まなぶ	弘前大学大学院 医学研究科	准教授	20	○	日本精神神経学会精神科専門医・指導医、日本臨床精神神経薬理学会専門医、精神保健指定医、第2回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ受講	031157102	4
神経科 精神科	富田 哲	弘前大学大学院 医学研究科	講師	12	○	日本精神神経学会精神科専門医・指導医、認知症診療医、精神保健指定医、日本臨床精神神経薬理学会専門医、日本総合病院精神医学会専門医、第29回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ受講	031157102	4
神経科 精神科	橋本 浩二郎	弘前大学大学院 医学研究科	講師	14	○	精神保健指定医、第18回青森県医師臨床研修対策協議会医師臨床研修指導医ワークショップ受講	031157102	4
神経科 精神科	小野 靖樹	弘前大学大学院 医学研究科	助教	31	○	精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医、日本精神神経学会指導医、日本児童青年精神医学会認定医、子どものこころ専門医機構専門医、Autism diagnostic observation schedule (ADOS)、平成20年度臨床研修指導医養成ワークショップ受講（石川県）	031157102	4
神経科 精神科	玉井 康之	弘前大学大学院 医学研究科	教授	30	○	精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医、日本精神神経学会指導医、日本総合病院精神医学会特定指導医、日本総合病院精神医学会専門医・指導医、臨床心理士、介護支援専門員、日本精神分析学会認定精神療法医、産業医、指定航空身体検査医、日本サイコオンコロジー学会認定登録精神腫瘍医、公認心理師、平成29年度精神科七者懇会第1回「臨床研修指導医講習会」修了、第6回東海大学医学部付属病院臨床研修指導医養成講習会 修了	031157102	4

※ 「担当分野」欄には、様式10別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

- ※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
- ※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
- ※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
- ※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。
 - * 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
 - * 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
- ※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
- ※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること